

## 【研究ノート】

# 『俗文学叢刊』収録図書について (1)

——第一輯「戯劇類・総類」——

舟 部 淑 子

## A Study of the "Materials in the Collection of the Institute of History and Philology" (1)

FUNABE, Yoshiko

要約：台湾・新文豊出版公司より出版された『俗文学叢刊』は、中央研究院歴史語言研究所の傅斯年図書館に収蔵された約1万2000余冊に及ぶ俗文学資料を整理・影印したものである。この全資料は、第一輯・第二輯・第三輯・第四輯に分けられ、各輯100冊合計400冊と索引巻からなり、戯劇類・説唱類・雜曲類・雜耍類・徒歌類・雜著類の6大類、さらに137小類・10801種・14860目に細分されている。『俗文学叢刊』第一冊の「俗文学叢刊 戯劇類編例」(p.xviii)によれば、戯劇類には計8600目、4500余冊の資料が収められているとある。本稿では中央研究院歴史語言研究所を中心とする資料の収集と整理の過程を簡単にまとめ、さらに文教大学図書館が所蔵する第一輯の一部である「戯劇類・総類」をとりあげ、その収録図書・資料を整理した。

キーワード：俗文学、戯劇、傅斯年図書館、歴史語言研究所、中央研究院

### 1. はじめに

台湾・新文豊出版公司より出版された『俗文学叢刊』は、中央研究院歴史語言研究所の傅斯年図書館に収蔵された約1万2000余冊に及ぶ俗文学資料と、抗戦時期の作品群、及び戦後収集された台湾歌謡を整

理・影印したものである。この全資料は、第一輯・第二輯・第三輯・第四輯に分けられ、各輯 100 冊合計 400 冊としてまとめられている。

また、この全 400 冊は、説書・戯劇・雑曲・雑耍・徒歌・雑著の六大部属に分けられ、さらに 137 類 10801 種 14860 目に細分されている<sup>[1]</sup>。

次にこの六大部属とその主な項目を以下にあげる。

- (1) 戯劇：戯劇総類・戯劇高腔・戯劇崑曲・戯劇滇戲・戯劇川戲・戯劇楚戲・戯劇福州戲・戯劇潮州戲・戯劇淮戲・戯劇越戲・戯劇蹦蹦戲・戯劇吹腔・戯劇粵戲・戯劇大棚班本・戯劇影戲・戯劇灘簧・戯劇梆子・戯劇京劇……

[13 類 3697 種 5183 目]

- (2) 説唱：①弾詞——福州平話・木魚書……  
②鼓詞——説唱鼓書・子弟書・大鼓書・快書・石派書……  
③宝卷

[3 類 2304 種 3356 目]

- (3) 雑曲：濟南調・利津調・湖広調・福建調・馬頭調・靠山調・蕩湖調・辺関調・五更調・窑調・牌子曲・群曲・岔曲・四川調・琴腔・十朵花・十盃酒・嘆十声・剪靛花・銀鈕絲・梳粧台調・紅繡鞋・西江月・对花・十二月・侷侷調・七七調・毛毛雨・和尚採花調・関東調・滿江紅・小情郎調・広東小調・湖北調・一字調・梅花調・揚州調・刮地風・羅江怨・天津調・楊柳青・京調・毛延寿調・倒板槳・的篤班調・四喜調・国慶調・川心調・月映花調・寧波調・漢陽調・湘江浪調・馬灯調・清淮調・金柳曲調・大四景・愈調・雅調・無錫調・閩南歌・客家調・玉溝調・寄生草・黄歴調・双黄歴調・南疊落・北疊落・一江風・重疊序・螺絲転・粉紅蓮・劈破玉・双劈破玉・起字呀呀哟・北河調・番調・倒番調・重重統・秦吹腔花柳歌・打棗竿・盤香詞・彈黄調・兩句半・八角鼓・

嶺頭調・南詞・清江引・老八板・蘇武牧羊……

[89類 4078種 5354目]

(4) 雑耍：蓮花落・鮮花調・跑旱船・数来賓・双簧・急口令・西湖景・  
鋸大缸・道情……

[10類 194種 313目]

(5) 徒歌：児歌・喜歌・秧歌・夯歌・叫売歌・軍歌・山歌……

[7類 341種 417目]

(6) 雑著：経・籤・命相・葉書・信札・謎語・笑林・勸善箴言……

[9類 182種 196目]

本稿ではこうした資料収集の動機と整理の過程を簡単にまとめ、さらに第一輯の「戯劇総類」をとりあげてその収録図書を整理したい。

## 2. 俗文学資料収集の背景と意義

まず、『俗文学叢刊』編纂の中心となった中央研究院歴史語言研究所の沿革を簡単にみてみたい<sup>[2]</sup>。

1928年(民国17年)、広州の中山大学に歴史語言研究所が成立、傅斯年が所長として迎えらる。翌1929年には北平に移り、歴史学組・語言学組・考古学組が分設される。1931年の九・一八事変(満州事変)後は上海、1934年には南京に移り、人類学組を増設。抗日戦争勃発後には、長沙、昆明、李荘(四川省)など各地を転々とするが、1946年南京に戻り、1948年には台湾に移った。1958年増設された甲骨文研究室は、1990年に文字学組と改称。1997年、語言学組が語言学研究所として独立するが、歴史語言研究所はそのままこの名称を用いている。現在は、歴史学組・考古学組・人類学組・文字学組により構成されている。

次にこうした俗文学資料収集は、どのような動機・意義づけのもと

で行われたのであろうか。『俗文学叢刊』第一輯第一冊の冒頭には、余英時・黄寛重・李孝悌諸氏の序がつけられているが、歴史語言研究所所長である黄寛重は以下のように述べている。

本所王汎森先生在〈劉半農與本所的「民間文藝組」〉的文章中提道：「清末民初思想中有一個趨勢，我稱之爲『平民的發現』，而收集歌謠整理民俗的工作是這個思潮的產物。」能鼓吹且能形成這個「自覺的文化運動」的推手，黨屬身爲五四新文化運動領導人之一，同時也是近代中國徵集歌謠事業的開創者的劉半農(復)先生。民國七年初(1918)，劉復在北京大學成立了「歌謠徵集處」，蒐集一些够不上《四庫全書》著錄或存目的作品，也不是「不刊之鴻教」的大作，然而却是「流行于民間，成爲大眾所嗜好，所喜悅的東西」的俗文學資料，由於它和民衆生活息息相關，成了現代「民史」研究極爲重要的材料。

当研究所の王汎森先生は、『劉半農と当研究所「民間文芸組」』のなかで「清末民初の思想の趨勢は「平民の発見」と呼ぶべきものであり、歌謠収集と民俗整理の仕事は、この思潮により産みだされたのである。この「自覺的な文化運動」を広く推し進め作り上げていくのは、五四新文化運動の主導者のひとりであり、同時に近代中国の歌謠収集事業の創始者である劉半農(復)先生である。民国7年(1918)、劉復は北京大学に「歌謠徵集處」を設立、『四庫全書』に著録されたり、存目に入る資格を与えられなかった作品群であり、また「不刊の鴻教」の大作とはいえないが「民間に流行し、大衆の愛好し喜ぶもの」となり、民衆の生活と密接な関係をもつゆえに現代「民史」研究のきわめて重要な資料となった俗文学資料を収集したのである。

また、主編の李孝悌は序のなかで、次のように述べている。

在五四新文化運動期間，主流的儒家思想受到嚴苛的挑戰，原來在這個體系中受到壓抑的族群——婦女，和居於次要地位的階層——人民，開始受到普遍的重視。以北京大學爲首的新知識份子，對下層人民的生活和文化，表現出無比的好奇和關心。在這樣的時代氣氛下，民歌作爲民間文化的一環，首先引起新文化運動領導人的注意。一九一八年，在劉復的倡導下，北大成立了「歌謠徵集處」。一九二〇年，一個比較正式的「歌謠研究會」在北大成立。一九二八年，從法國留學歸來的劉復，主持中研院史語所的「民間文藝組」，開始大規模的收集「俗曲」，成爲今天史語收藏的俗文學資料的骨幹。

五四新文化運動期において、それまで主流であった儒家思想は厳しい挑戦に直面した。かつて、その体制のもとで抑圧されていた階層である女性、及び二次的階層に位置づけられていた人民は、初めて普遍的に重視されるようになったのである。そして、北京大学を中心とする知識人は、下層階級の人々の生活と文化にかつてない好奇心と関心を示した。こうした時代の空気のなかで、民歌は民間文芸の一部として、最初に新文化運動の指導者たちの注意を引きつけたのである。1918年、フランス留学から帰国した劉復は、中央研究院歴史語言研究所の「民間文芸組」を主導し、「俗曲」収集を開始したのであるが、これが収蔵の俗文学資料の根幹となっている。

對庶民文化的關心，當然不完全是當代社會的新興現象。在中國，二十世紀初葉知識份子對戲曲和民間文學、歌謠的重視，在思想史和文化史上都是一個重要的突破。在往前推，在明末或十八世紀，個別的士紳官員其實早已經對庶民文化產生極高的興趣。

庶民文化への関心は、もちろん現代社会に全く新しく興った現象であるとはいえない。中国において二十世紀初期の知識人による戯曲・

民間文学・歌謡の重視は、思想史と文化史における重要な新局面である。さらにさかのぼると、実際には明末あるいは十八世紀には、少数ではあるが地方の名士・官吏がすでに庶民文化にきわめて高い関心を示していたのである。

また、『俗文学叢刊』編纂・出版を促した要素のひとつと考えられる近來の西欧の影響について以下のように述べている。

知識份子對民衆文化的關心，雖然不是新興的文化現象，但慎重其事地將「不登大雅之堂」的民間文化資料，當成學術研究的中心課題，却是過去幾十年來發展出的新趨勢。這種新研究取向，由歐陸和英國學者首開其端，到 1980 年代，在美國的中國研究中，也開始引起極大的回響。…(略)…

在西方史學的影響下，各地的中國研究學者，也愈來愈重視社會史、文化史、生活史和大衆文化的研究。站在這些學術潮流的前沿，重新回顧史語所前輩學者七十多年的努力，我們不得不佩服五四新文化運動領導者的眼光和視界。

知識人層の民衆文化への関心は目新しい現象ではないが、「高尚な場に出せない」民間文化資料に、慎重に取り組み、学术研究の中心課題としたのは、過去数十年かけて推し進めてきた新しい趨勢なのである。この新しい研究の方向は、ヨーロッパ大陸とイギリスの学者たちによってその端が開かれたのであり、1980 年に至って、アメリカの中国研究にきわめて大きな反響を呼び起こし始めたのである。…(略)…

西欧史学の影響を受けて、各地の中国人研究者たちもますます社会史・文化史・生活史・大衆文化の研究を重視するようになった。こうした学術的思潮の最前線に立って、あらたに歴史語言研究所の先輩学者の 70 年以上にわたる努力をふり返ると、五四新文化運動指導者たち

の眼識と視野に敬服せざるをえない。

以上のことから、主に清末民初の思潮から自覚的な五四新文化運動にいたる時代の趨勢を背景に民間文化資料が重視されるようになり、1918年に北京大学で劉復が設立した「歌謡徴集処」から俗文学資料の収集が始まったといえる。その意義としては、一貫して文化・文学の傍流でしかなかった民間文芸とその享受の中心層である庶民に始めて関心が向けられ、学術研究の中心課題とされたことであろう。

### 3. 傅斯年図書館所蔵俗文学資料の分類と整理

前述のように『俗文学叢刊』は第一輯から第四輯、全400冊からなるが、この全資料は戯劇類・説唱類・雜曲類・雜耍類・徒歌類・雜著類の6部属に大きく分けられている。この分類はどのように行われたのであろうか。

傅斯年図書館の1万2000余冊にのぼる俗文学資料の収集の過程は、主に以下の六種に大別できる。

- (1) 劉復と「民間文芸組」収集の曲本。
- (2) 台湾に移る前に歴史語言研究所が大陸各地で収集した曲本。
- (3) 曾永義の収集による台湾歌謡の曲本。
- (4) 傅斯年図書館所蔵の旧籍から分類選別した関連曲本。
- (5) 1999年に広州中山大学と交換した車王府曲本の影印本48種63冊。
- (6) 2001年、Albert E.Dienにより寄贈された閩南歌仔冊280種。

こうした傅斯年図書館所蔵資料収集の中心となり、後の整理における思想的基盤ともなったのは、前述の李孝悌の序にもあったように劉復と「民間文芸組」の仕事であろう。劉復と李家瑞他による『中国俗曲総目稿』（北平・国立中央研究院歴史語言研究所 1932年5月）は、1918年から収集を始めた歌謡・俗曲の目録である。そして、李家瑞は

この目録編纂の際の会得を『北平俗曲略』（国立中央研究院歴史語言研究所 1933 年 1 月初版 上海文芸出版社 1990 年影印出版）にまとめている。本書は、中国で初めての系統的な北平俗曲の専著とされるもので、各種曲調の起源・流传・特徴などについて精密な分析がなされている。また、このなかで全資料を、説書之属・戯劇之属・雜曲之属・雜耍之属の 5 部属に分けているが、『俗文学叢刊』の 6 部属は、この李家瑞の 5 部属分類に徒歌の 1 部属を加えたものである。

こうして収集された俗文学資料は、以下のような段階を経て整理されている。

- 1932 年 劉復・李家瑞他編『中国俗曲総目稿』に収蔵書目を採録。
- 1965 年 ハーバート大学の委託により、趙如蘭が通俗曲本を計 232 のマイクロフィルムに撮影。楊時逢に依頼して総計 5 属・51 類の『中央研究院歴史語言研究所所蔵俗曲総目録』を作成する。
- 1973 年～1975 年 ハーバート大学燕京学社の資金援助を得て、台湾大学中文系曾永義教授主宰の「分類編目中研院史語所蔵俗文学資料工作小組」による分類書目稿「分類編目中研院史語所蔵俗文学資料」21 冊を完成。総計 6 属・137 類・10801 種・14860 目。
- 1983 年 新旧目録の不統一・欠損を補うため、陳芳英・林英津が旧蔵の関連俗文学資料書目を増補し改めて分類編目作業を行う。また一部の虫食いや破損箇所のある資料を転記・補修。
- 1987 年 学術研究の便を図るため、図書館員湯蔓媛他により再度点検と収録作業を行う。1989 年には、6 大類・136 小類・19473 目の図書館所蔵 1 万 2000 余冊と、俗文学 705 目・曲譜 282 目・車王府曲本 282 目の俗文学資料の整理を完了した。



また、それぞれの図書・資料には、類属・版本が明記され、提要と備注がつけられている。

#### 4. 『俗文学叢刊』第一輯の収録図書

第一輯収録の資料は全て「戯劇類」であるが、総類・高腔・昆曲・滇戲の4小類にわたる資料が収録されている。本稿では紙幅の関係もあるため、まず総類35冊の収録資料をあげる。それぞれの資料が第何冊目に収録されているかは、【001】(第一冊)というように三桁の数字で表記した。〔 〕内は、各書の冒頭につけられた歴史語言研究所の提要などを参考にして内容を簡単にまとめたものである。

##### 「総類」収録図書

- (1)新編戲學彙考 凌善清・許志豪編 上海大東書局排印本 1929年三版  
〔序言からみて、本書の出版動機は旧曲の流失を憂えたためであり、皮黄の保存・考証と発揚の助けとするためである。第一冊には多数の手になる題字と数人の序言、名優の写真・墨蹟等がつけられている。内容は大きく「戯劇編」と「戯曲編」の二つに分けられる。〕

- |     |     |   |       |
|-----|-----|---|-------|
| 戲學編 | 卷之一 | 戯劇總綱・生角部  | 【001】 |
|     | 卷之二 | 丹角部・淨角部・丑角部・武行部・場面之組織・後臺之組織・皮黄工尺譜・戯劇服裝                            |       |
| 戯曲編 | 卷之三 | 〔生角劇本 偏重唱工之鬢生劇〕   | 【002】 |
|     |     | 文昭關・取城都・天水關・全本空城計・七星燈・捉放曹・李陵碑・四郎探母・烏盆計・上天堂・逍遙津・砂痣・雙獅圖・八義圖・獻西川・賜黃袍 |       |
|     | 卷之四 | 〔生角劇本 偏重做工之鬢生劇〕   |       |
|     |     | 全本九更天・打嚴嵩・戰蒲關・狀元譜・全本四進士   |       |

- [生角劇本 唱做并重之鬚生劇]  
珠聯寨・打魚殺家・定軍山・賣馬當錮
- 卷之五 [生角劇本 唱做并重之鬚生劇] [003]  
瓊林宴・打鼓罵曹・洪羊洞・盜宗卷・全本黃金臺・  
南陽關・寶蓮燈・黨人碑・馬前潑水・掃松下書・徐  
策跑城
- [生角劇本 紅生劇]  
贈袍賜馬・白馬坡・桃袍・過五關・古成相會・
- 卷之六 [生角劇本 長鬚武生劇]  
請宋靈・全本風波亭・全本獨木關・長板坡・挑華車
- [生角劇本 斷鬚武生劇]  
盜御馬・銅網陣・落馬湖・拿高登・曾頭布
- [生角劇本 小生劇]  
轅門射戟・白門樓・岳家莊・飛虎山
- 卷之七 [旦角劇本 老旦劇] [004]  
徐母罵曹・釣金龜・行路哭靈・斷太后・滑油山
- [旦角劇本 正旦劇]  
祭江・彩樓配・落花園・六月雪・宇宙瘋・全本糟糠  
之妻・浣花漢・玉堂春
- 卷之八 [旦角劇本 花旦劇]  
虹霓關・貴妃醉酒・全本販馬記・打花鼓
- [旦角劇本 古裝旦劇]  
嫦娥奔月・天女散花・黛玉葬花・晴雯撕扇・寶蟾送  
酒
- 卷之九 [旦角劇本 昆旦劇]  
春香鬧學・思凡
- [旦角劇本 秦旦劇]  
遺翠花・富春樓・梵王宮・抬玉鐺

『俗文学叢刊』収録図書について (1)

〔浄角劇本 偏重唱工之浄角劇〕

草橋關・打龍袍・劉美案・黑風帕

〔浄角劇本 偏重架子之浄角劇〕

取洛陽・司馬逼宮・丁甲山・白綾記

卷之十 〔丑角劇本 文丑劇〕

【005】

戲迷傳・拾黄金・丑表功

〔丑角劇本 武丑劇〕

慶賀黃馬褂

〔兩主角合演劇本 生旦合演劇〕

霸王別姬・汾河灣・平貴別・武家坡・桑園寄子・牧羊卷・機房教子・南天門・御碑亭・全本烏龍院・梅龍鎮

〔兩主角合演劇本 丑旦合演劇〕

十八扯・小放牛

(2) 戲劇月刊 劉豁公主編 上海大東書局

〔計 46 期にわたり、第一卷の前半 7 期分にそれぞれ再版、三版、四版といった違いがあるが、そのほかは全て初版である。各期共通の体裁は以下の四点である。〕

- ①劉豁公による巻頭語：全て 500 字以内の短文で、内容は読者への呼びかけと刊行の予告。
- ②銅図：名優と票友の劇中写真。
- ③臉譜：各期二種を紹介。
- ④戲劇専門の投稿論文：各期約 20 篇を収録。 ]

第一卷 第一期 上海大東書局 1931 年四版

第二期 上海大東書局 1931 年五版

【006】

第三期 上海大東書局 1931 年四版

	第四期	上海大東書局	1931 年四版	【007】
	第五期	上海大東書局	1930 年三版	
	第六期	上海大東書局	1931 年四版	【008】
	第七期	上海大東書局	1931 年再版	
	第八期	上海大東書局	1929 年(以下全て初版)	【009】
	第九期	上海大東書局	1929 年	
	第十期	上海大東書局	1929 年	【010】
	第十一期	上海大東書局	1929 年	
	第十二期	上海大東書局	1929 年	【011】
第二卷	第一期	上海大東書局	1929 年	
	第二期	上海大東書局	1929 年	【012】
	第三期	上海大東書局	1929 年	
	第四期	上海大東書局	1929 年	【013】
	第五期	上海大東書局	1930 年	
	第六期	上海大東書局	1930 年	【014】
	第七期	上海大東書局	1930 年	
	第八期	上海大東書局	1930 年	【015】
	第九期	上海大東書局	1930 年	
	第十期	上海大東書局	1930 年	【016】
	第十一期	上海大東書局	1930 年	
	第十二期	上海大東書局	1930 年	【017】
第三卷	第一期	上海大東書局	1930 年	
	第二期	上海大東書局	1930 年	【018】
	第三期	上海大東書局	1930 年	
	第四期	上海大東書局	1931 年	【019】
	第五期	上海大東書局	1931 年	
	第六期	上海大東書局	1931 年	【020】
	第七期	上海大東書局	1931 年	

- 第八期 上海大東書局 1931年 【021】  
第九期 上海大東書局 1931年  
第十期 上海大東書局 1931年 【022】  
第十一期 上海大東書局 1932年  
第十二期 上海大東書局 1932年 【023】

(3) 戲學指南 馮春帆校正・羅駕新編次 上海大東書局 1931年  
〔戲劇を学ぶ者のために著された書で、名優による脚本に基づき各場に従って詳細に説明がつけられている。また、所収の劇目は全て全場の完全なものである。第一・二冊には過門工尺譜が付されているが、その他の各冊はそれぞれ5劇目を収める。〕

- 第一冊 上海大東書局 1931年  
第二冊 上海大東書局 1931年 【024】  
第三冊 上海大東書局 1931年  
第四冊 上海大東書局 1931年  
第五冊 上海大東書局 1931年 【025】  
第六冊 上海大東書局 1931年  
第七冊 上海大東書局 1931年  
第八冊 上海大東書局 1931年  
第九冊 上海大東書局 1931年 【026】  
第十冊 上海大東書局 1931年  
第十一冊 上海大東書局 1931年  
第十二冊 上海大東書局 1931年 【027】  
第十三冊 上海大東書局 1931年  
第十四冊 上海大東書局 1931年  
第十五冊 上海大東書局 1931年  
第十六冊 上海大東書局 1931年 【028】  
曲牌工尺譜 抄本

(4) 曲牌

〔計 14 冊。第一～五冊は劇目の不明な曲牌計 80 余りを収める。第六冊以下は崑曲劇目中の曲牌を収める。〕

- 第一冊 1931 年 抄本
- 第二冊 1931 年 抄本
- 第三冊 1931 年 抄本
- 第四冊 1931 年 抄本
- 第五冊 1931 年 抄本 **【029】**
- 第六冊 1931 年 抄本
- 第七冊 1931 年 抄本
- 第八冊 1931 年 抄本
- 第九冊 1931 年 抄本
- 第十冊 1931 年 抄本 **【030】**
- 第十一冊 1931 年 抄本
- 第十二冊 1931 年 抄本
- 第十三冊 1931 年 抄本
- 第十四冊 1931 年 抄本

(5) 二黄尋聲譜 鄭劍西主編 上海大東書局 1930 年再版 **【031】**

〔本書・続集ともに当時流行していた留声の諸片に、崑曲の譜式にならって工尺板眼を詳細に記し、学習者の便に供するものである。内容は、まず「二黄浅談」において二黄の来源・特色・派別を述べたのち、計 71 段の譜式を収める。〕

(6) 二黄尋聲譜續集 鄭劍西主編 上海大東書局 1930 年初版

(7) 工尺大全 上海慶記書局 **【032】**

〔胡琴・琵琶・絃子・簫笙の調式と工尺譜など〕

(8) 工尺五種 上海蔣春記印

〔三絃・笙・琵琶・簫・胡琴の調式。絲竹工尺譜・三六板等の工尺譜・

絲竹譜・笙笛譜・鑼鼓譜の工尺五種を収める。]

- (9) 工尺譜(一) 抄本 [劉玉堂双八板等の工尺譜]
- (10) 工尺譜(二) 抄本 [月琴把式と西皮二簧工尺譜]
- (11) 工尺譜(三) 抄本 [將軍令三種・夜深沈二種]
- (12) 京曲工尺譜 江天一編輯 上海世界書局 1921年初版  
[胡琴の把式、及び二簧正板法等の工尺譜]
- (13) 胡琴正規 惕身館主著 北平中華書局 1930年四版  
[胡琴把式と演奏法。西皮類及び二簧類の工尺譜]
- (14) 風琴胡琴京調曲譜大觀 許志豪編 1931年3月  
[当時流行していた各種京調の小曲。工尺譜と簡譜をつける。]  
第一集 胡琴風琴學習法・中西音樂符號對照表……  
第二集 天水關・空城記・法門寺…… **【033】**  
第三集 貴妃醉酒・母女會・捉放殺呂……  
第四集 後襲人・元肖謎・蘇武牧羊……
- (15) 粵東鑼鼓樂譜 及幼齋序刊本 1921年  
[民国10年の譚榮光の自序あり。鑼鼓の調譜・打法・符号。]
- (16) 諸調工尺譜卷五 **【034】**
- (17) 簫譜初集
- (18) 簫譜大全
- (19) 二進宮青衫
- (20) 二簧小開門
- (21) 二簧元板
- (22) 二簧元板烏龍院
- (23) 二簧元板二板
- (24) 二簧元板三板
- (25) 二簧元板四平調
- (26) 二簧元板四板
- (27) 二簧反調

- (28) 二簧反調四板
- (29) 二簧反調二板
- (30) 二簧反調三板
- (31) 二簧反調隨唱三句
- (32) 二簧反調隨唱〔一〕
- (33) 二簧反調隨唱〔二〕
- (34) 二簧反調隨唱〔三〕
- (35) 二簧青衫隨唱〔一〕
- (36) 二簧倒板 托兆〔一〕
- (37) 二簧倒板 托兆〔二〕
- (38) 二簧黃金台
- (39) 二簧慢板二板
- (40) 二簧慢板三板
- (41) 二簧慢板四板
- (42) 二簧慢板洪羊洞
- (43) 二簧慢板洪羊洞
- (44) 二簧慢板洪羊洞二句
- (45) 二簧慢板洪羊洞三句
- (46) 二簧慢板 砂痣〔一〕
- (47) 二簧慢板 砂痣〔二〕
- (48) 二簧慢板 砂痣三句
- (49) 二簧板頭板青衫
- (50) 二簧 碑回龍
- (51) 八岔
- (52) 八板
- (53) 打骨碑
- (54) 西皮元板
- (55) 西皮元板二板



- (56) 西皮元板三板
- (57) 西皮元板四板
- (58) 西皮元板隨唱
- (59) 西皮元板隨唱〔二〕
- (60) 西皮元板隨唱〔三〕
- (61) 西皮正板青衫
- (62) 西皮正板二板青衫
- (63) 西皮快二六
- (64) 西皮快三眼
- (65) 西皮快三眼三
- (66) 西皮快三眼五板
- (67) 西皮快三眼二板
- (68) 西皮快三眼四板
- (69) 西皮快三眼隨唱生用
- (70) 西皮流水板
- (71) 西皮倒板青衫
- (72) 西皮倒板南陽關
- (73) 西皮倒板隨唱生用 武家坡
- (74) 西皮搖板
- (75) 西皮慢二六生用
- (76) 西皮慢二六青衫
- (77) 西皮慢板二六
- (78) 西皮慢板二板生用
- (79) 西皮慢板三板
- (80) 西皮慢板生用
- (81) 西皮慢板三板
- (82) 西皮慢板四板
- (83) 西皮慢板四板生用

【035】

- (84) 西皮慢板隨唱二 空城計
- (85) 西皮慢板隨唱生用 全本探母
- (86) 西皮慢板隨唱武家坡
- (87) 西皮慢板隨唱青衫
- (88) 西皮慢板隨唱青衫三 武家坡
- (89) 初學二簧
- (90) 初學月琴
- (91) 初學西皮
- (92) 初學梆子
- (93) 初學笛譜文明戲
- (94) 初學笛譜妓女告狀
- (95) 初學笛譜春從天上來〔一〕
- (96) 初學笛譜春從天上來〔二〕
- (97) 初學笛譜春從天上來〔三〕
- (98) 初學笛譜探情樓
- (99) 初學笛譜痰迷
- (100) 初學笙譜
- (101) 初學 子正工調
- (102) 初學簫譜二十四糊塗
- (103) 德堂打新春
- (104) 德堂光棍哭妻
- (105) 德堂朝天子
- (106) 德堂嘆情樓
- (107) 武家坡
- (108) 空誠計生用
- (109) 空誠計琴歌
- (110) 哭皇天
- (111) 萬年花

注

- [1] 東方書店ホームページの書籍紹介による。
- [2] 中央研究院歴史語言研究所の沿革及び傅斯年図書館所蔵俗文学資料整理の経過は、『俗文学叢刊』第一輯の冒頭につけられた各序と中央研究院歴史語言研究所のホームページの記述を参考にした。